

平成18年11月20日発行

第3号

発行：鹿児島県志布志市議会
編集：広報等調査特別委員会
〒899-7492
鹿児島県志布志市有明町野井倉1736番地
TEL 099-474-1111(内線311)
FAX 099-474-0363



志布志市

市議会だより



<http://www.city.shibushi.lg.jp>



平成18年11月11日(前夜祭)、12日(本祭)の2日間で、やっちく松山藩秋の陣まつりが開催された。前夜祭ではじゃっどん小野ちゃんショーや魁伝太鼓など、また、本祭では奉納武者行列から始まり野菜の大盤振舞い、千軒太鼓や五月みどり歌謡ショーなど、約5万人の人手で賑わった。

総務委員会での質疑・答弁	2
文教厚生委員会での質疑・答弁	3~4
産業建設委員会での質疑・答弁	5
一般質問に14議員登壇	6~19
議員控室	20
所管事務調査を実施	20

編集後記	20
------	----

TOPICS

9月19日、20日、21日に一般質問が行われ、14名の議員が施政方針などについて質問しました。





平成18年9月定例会は、9月11日から29日までの19日間開かれ、一般会計・国民健康保険特別会計補正予算、条例など議案18件を可決、陳情書を3件のうち2件を採択し、国の療養病床の廃止・削減計画の中止を求める意見書を国・県に提出しました。志布志運動公園の整備に関する陳情書は不採択としました。一般質問は19日、20日、21日の3日間にわたり、14議員が農業・港湾・観光・環境・福祉・スポーツ振興・教育問題などについて質問しました。

総務委員会での質疑・答弁

志布志市防災会議議案の一部を改正する条例の制定について
〔原案可決〕

〔原案可決〕

現在の議員数は、457名で23名の欠員である。

Q 防災会議のメンバーに、防災推進委員、自主防災組織の代表者、建設業者代表者、医師会代表者等を加えるべきと思うが。

〔原案可決〕

Q 一般会計補正予算(第4号)関係の質疑
総務関係の役務費800万円の増額理由は。

Q 郵便料が主なもので、自治会未加入世帯が、3,163世帯であり、郵送料が主なものである。

A メンバーは33名で、事業代表者は、NIT、九州電力の代表者、大隅土木事務所長、市役所の各部長等が入っているのですが、今後検討したい。

A 郵便料が主なもので、自治会未加入世帯が、3,163世帯であり、郵送料が主なものである。

Q 志布志市消防団条例の一部を改正する条例の制定について
〔原案可決〕

〔原案可決〕

Q 市議員定数と現在の議員数は。

Q 商工会へ125万円補助し、商工会は、歳末大売出しを大々的に開催し、特産品等を賞品として提供する計画であるが、全体事業費はいくらか。

Q 女性支援推進会議は、広く女性の意見を聞き、市政に反映させることが目的であると思うが、会議だけの意見ではなく、ホームページや、手紙、不特定多数の意見を聞くなど、多くの女性の協力が必要と考える。

A 定数は、480名で、

A 508万3,556円である。

A 出来るだけ多くの女性の意見を集約し、市政への参画を推進したい。

Q 加盟店から商品券をどのようにして、特産品と交換するのか。

A 出来るだけ多くの女性の意見を集約し、市政への参画を推進したい。



防災訓練

文教厚生委員会での質疑・答弁

志布志市やちちくぐらあいでセンター条例の制定

この条例はやちちくぐらあいでセンターに指定管理者の制度を導入しようとするものである。

Q 合併がら今日まで、教育委員会と市務部局ごで費用料等のすり合わせをしたのか。

A 合併の際は現行とあり引き継ぐということであった。当制度を導入するに当たっては料金等のすり合わせはまたしていない。今後体系的に調整する必要があることは認識している。

志布志市体育施設条例を廃止する条例の制定

この条例は次の施設を画営または指定管理するために従来の条例を廃止するものである。

志布志市松山体育施設条例の制定

この条例は松山の体育施設を直営しようとするものである。

志布志市有明体育施設条例

の制定

この条例は有明の体育施設を指定管理しようとするものである。

以上4件の条例は当委員会では住民に不公平を生じる恐れがあるため否決すべきであるとの結論であったが、本会議では賛成多数で原案可決された。

志布志市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

〔原案可決〕

この改正案は七十歳に達した人、及びその人と同じ世帯で一定以上所得のある人で、市民税における控除後の所得が145万円以上の人について自己負担を3割とする。また、出産育児一時金の額を30万円から35万円にするものである。なお、施行日は平成18年10月1日である。

Q 3割負担になる高齢者は何人か。

A 70歳から74歳までの前期高齢者が58人、75歳以上の老人保健の人が122人、合計180人である。

Q 出産育児一時金は病院が直接受け取るようになるのか。

A 直接病院へ支払う形については、国や県から方針が示されるのを待つて対応したい。

志布志市重度心身障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

〔原案可決〕

Q 障害者支援施設と児童福祉施設の違いは。

A 障害者支援施設は今までの知的障害者や身体障害者の施設が、障害者自立支援法により障害者支援施設となったものであり、児童福祉施設は、児童福祉法により措置している入所施設である。

志布志市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

〔原案可決〕

補正額3億771万円を追加し、総額を4億2,683万9千円とするものである。また、一時借入金金の額を2億円から4億円に増額する。

Q レポート点検の関係者には個人情報保護について啓発しているか。

A 関係者は日々業務の中で常に強く指導し、確認しあっている。

志布志市老人保健特別会計補正予算(第2号)

〔原案可決〕

補正額125万を追加し、総額を5億3,664万1千円とするものである。

志布志市介護保険特別会計補正予算(第1号)

〔原案可決〕

補正額4,974万6千円を追加し、総額を3億6,285万7千円とするものである。

志布志市下水道管理特別会計補正予算(第1号)

〔原案可決〕

補正額478万3千円を追加し、総額を3億3,402万1千円とするものである。この中には市債の5,770万円の増額が含まれている。

Q 市債の利率はいくらか。

A 来年の3月に決定する予定であるが、17年度の例では2.05%であった。

Q 予備費の増額の要因は何か。

A 下水道事業全般に関わる突発的な事態が発生した時に備えるものである。

一般会計補正予算(第4号)

〔原案可決〕

Q 学校の耐震化優先度調査は鉄骨の建物の場合はどうするの。

A 基礎部分のコンクリートについてはシュミットハンマーを使って行うが、梁の部分については目視と書類照合を行う。古い建築物のものは耐力調査を行い、建て替えか改修かの判断をするところになる。

Q 歴史のまちづくり事業の国庫補助と一般財源の見通しは。

A 山城は国指定になっており、今後6年間は国が50%、県が10%、市が40%の

割合で、毎年800万円予算がつくことになっている。国指定以外については補助事業を探し、該当しない場合は市の単独事業となる。

Q 成人式は19年度からは合同ですることになっていないか。

A アンケートの結果、今回までは別々に1月1日に松山で、3日に有明で、5日に志布志ですることになった。

Q 国民年金の免除基準はどのようになっているか。

A 例えば単身世帯での所得金額の基準は、全額免除で57万円、4分の3免除で93万円、半額免除で141万円、4分の1免除で189万円内である。

Q 環境衛生費の旅費の内訳は。

A バイオオマスの先進地を研修するための旅費である。

Q 志布志の福祉タフシーは、松山や有明と同じ方式にはできないか。

A とりあえずあえず路線方式をとることになっているが、今後は要望等を聞きながら統一に向けた作業をしていきたい。

たのが。



志布志城内城跡本丸建物復元状況イメージ図

Q 障害者地域支援事業が始まるが、介護保険との関係はどのようになるか。

A 今後は介護保険の地域包括支援センターの事業として取り組まなければならない面が多くなる。

Q 一般会計と介護保険に似たような事業があるが、状態の軽重で振り分けられることになるのか。

A 介護保険では放っておくと介護を必要とするようになる「特定高齢者」について対応するということになる。



陳情関係

障害者自立支援法実施幼児期の療育について陳情を採択すべきとした。

国の療養病床の廃止・削減計画の中止の意見書採択を求める陳情書を採択すべきとした。

志布志運動公園の整備に関する陳情書は不採択とすべきとした。



志布志運動公園整備前の陸上競技場



産業建設委員会での質疑・答弁

専ら東部地区基幹水利施設
管理事業の委託について

〔可決〕

専ら東部地区基幹水利施設
管理事業の事務の委託に
関する規約を定め、専ら市
に委託するものである。

Q 災害時の水量の調整に
ついて、地域の方々への連
絡事項(たとえば、サイレ
ンを流して住民に知らせ
るなど)、規約はあるか。

A 下流の所に何箇所かサ
イレンとマイクを設置して
情報を流すようなシステム

になっている。

一般会計補正予算(第4号)

〔原案可決〕

〔耕地課関係〕

Q 5月から7月の豪雨災
害について、激甚災害が指
定されたということだが、
決定されたのはいつころ
か。

A 9月8日の閣議で決定
され、9月13日の官報で注
示された。また、公共事業
の災害も非常に補助率が上
がってきて、激甚に指定さ

れた場合は、地元負担が免
除され、地元負担はなくな
る。

Q 10月の工事を発注す
ることだが、件数が多
く年度中に工事が完成する
のか。

A 農地等については、早
く復旧しなければならぬ
ので、年度内に完了したい。

〔農政課関係〕

Q 水田においての茶の植
栽はできないか。

A 開田は、止水すれば畑
となり、茶を植えたい農家
もあるが、作物の圃地化を
勧める中で土地改良区と協
議をしながら進めていく。

Q 市内に農協が2つある
が、意思の疎通がされてい
るか。

A 農家も農協も振興会の
一会員であり意思の疎通は
図られていると理解してい
る。

〔畜産課関係〕

Q 飼料生産対策事業の補
助率が2分の1と3分の1

となっているが、分けは
どうなるのか。

A 事業要綱の中で、堆肥
生産関係が2分の1、飼料
生産関係が3分の1であ
る。

〔林務水産課関係〕

Q ハモ加工用の備品で加
工したものはどのようなも
のか。

A 漁協婦人部で三枚にあ
ろし、購入した骨きり機を
使ってパック詰めしたもの
の。

Q ハモ切り機は民間も使
えるか。

A 漁協の備品であるので
使えない。

〔都市計画課関係〕

Q 特殊地下壕と思われる
陥没した現地の状況は。

A 住宅の敷地が深さ5m
ほど陥没している。雨水浸
入等があると、非常に危険
な状態なので、生コンク
リート等で埋め直しを行
っている。

〔土木課関係〕

Q 柿ノ木志布志線の事業
期間が延びた理由と、用地
買収の予算が少ないので
は。

A 土木事務所によると、
3億円で6年を見込んでい
ることである。

〔管理課関係〕

Q 若浜住宅の解体につい
て、廃棄物を持っていく所
を指定するのか。

A 業務委託であり、廃棄
物処理場は指定しない。

水道事業会計補正予算(第
1号)

〔原案可決〕

Q 予想を超える災害で復
旧経費がかかると思う。

A また、水は命の源である
ので、一般会計からの補助
を受けて、災害対策をすべ
きではないか。

A 財政部局に協力をもら
いながら、対策をすすめる。



被害をうけた農地

給食センターの早期建設について



林 議員

林 勇作議員 旧志布志町の給食センターについては昭和46年度の建設である。市給食センターの建設の着工予定はないか。

建設は20年8月を考えている

教育長 新学校給食センターでは食数3千食規模を計画している。

第一回の建設委員会を10月13日に開催して建設場所規模等の検討を考えている。着工予定は20年8月を予定している。

正規の調理員は何名が臨時職員研修をすべきではないか

問 市内3ヶ所の給食センターの正規調理員は何名いるのか、臨時職員の研修を年一回実施すべきではないか。

正規の職員は2名である。研修を検討したい

教育長 正規の調理員は有明給食センターに2名おり、子供たちの給食を扱う臨時調理員もいる。安全安心を求めて調理することが前提であり研修も当然実施したい。

調理員の配置と臨時職員の月額制は検討できないか

問 学校給食法第2条の中で、教育の目的を達成するには4項目の目標が定められている。子供の食の教育は全体的な取り組み

が必要ではないのか調理員の配置は対応できないか、また、臨時調理員の月額制の検討はできないか。

調理員の配置と月額制の検討をしていきたい

市長 新しく3千食配食

するセンターを巡るときに安全安心に子供達が食べる食を提供するには管理体制を検討すべきだと思う。その中で調理員の配置も検討したい。合わせて臨時調理員の月額制も今後検討していきたい。



建替えの必要な給食センター

公有財産の管理について

問 曲瀬線道路改良工事の埋め立て部分と民地の境界確認と道路敷に馬頭観音碑が奉つてあるが許可されたのか。

法に基づいて対応する

市長 現在様々な面で検討しており、法に基づいて適切納得のいく方法で今後対応したい。

志布志市老人福祉計画及び介護保険事業計画の策定について

問 介護保険サービスの基盤整備と施設の居住系のサービスの整備状況について策定委員会の報告を受け、市長が最終決定されたのはいつか。

決定は18年2月24日である

市長 市の施設入居者の状況は国が示した標準と比較すると、超えている所もある。市内の介護状況は核家族化が進み施設

入居数は高いと考える。策定委員会の決定は18年2月24日である。

施設の決定については市内から公募すべきである

問 17年度の事前協議と施設の決定がしてあるが、新志布志市の初めての指定行為であるから市内の施設病院等から公募して公正公平に指定するのが市長の務めではないのか。

策定委員会では特段公募する意見はなかった

市長 最終的には18年2月24日決定され、18年度以降の事業については17年度中に決定したものである。公募しなかったことについては、策定委員会の構成員の中で特段公募すべきなどの意見はなかったと聞いています。



7月5・6日の災害について



本田 議員

本田孝志議員 18年5月23日から7月29日までの豪雨及び暴風雨による災害、日本付近に連続して停滞した梅雨前線の影響により、各地で大雨となり長野県や鹿児島県、鹿児島を中心に大きな被害を生じたこの災害は、天災か豪雨災害かお伺いしたい。

市長 梅雨前線による豪雨災害は天災である。

天災の場合の減免措置は

問 県単治山事業では、自然災害により崩壊した林地で事業費が80万円以上800万円以下となっているが、合併協議会で天災その他特別の事情がある場合には減免を検討するとなっているが。

市長 減免を検討する。

災害後の対応について

問 まだ、被災面所の取りまとめをしていない箇所があると思うが、自治会長を通じて取りまとめをやる方がいいのではないか。また、農地災害の取りまとめは。

産業振興部長 集落の自治会長を通じて、早急に申請の取りまとめを行う。

問 被災された世帯数は。

総務部長 全壊1棟、一部損壊1棟、非住家全壊1棟、床上浸水19棟、床下浸水44棟である。

床上の被災地に見舞金は

問 鹿児島県の他市町村では、被災者に対して災害見舞金を支給している所があるが、被災された方が一刻も早く立ち直る為に、生活支援見舞金を支払うべきではないか。

総務部長 合併後、見舞金を支給している市町村は少ない。

多少遅れの部分があるのは否めない。なるべく早くのようになっているので、市長から指示されており近いうちにお答えできると思っている。

本市のバリアフリー化はどのようにするのか。

問 私も志布志市文化会館、有明体験館等を見たいが、まだまだバリアフリー化が遅れている。

簡単な修繕・模様替え等で対応できるものではないか。

市長 本市の施設はバリアフリー化が遅れており、今後バリアフリー化の促進のために努める。



集中豪雨による被害状況

志布志市の道路維持について

問 旧有明町の時は、環境整備課で「すべやる係」ということで、整備等を行っていた。

設立時は4〜5人の作業員だったと思うが、18年度本庁は10人である。予算ベース約4400万円であり、志布志市全体で作業員は松山支所5人、志布志支所4人、本庁10人、合計19人であり、予算ベース8900万円である。随の大崎町は、業者全員で約1100万円、85km、重機借り上げ・人夫代で1300万円である。これも一概に本市とは比較できないが、道路維持管理について指定管理できないか、見直す考えはないか。民間に委託・市内の建設業者に委託する気はないか。

市長 業者への委託、また、対応についてはいろいろな組合せをしながら図っていく。有明の維持班は若干多いので検討する。

水がほしい国際の森



立山議員

立山 静幸議員 国際の森に水道がなく、トイレ等で手を洗う水もない。旧志布志町議会、女性議会で、再々質問がされ、強く要望されているが実現していない。理由は費用対効果のようである。

しかし、旧有明町では、同じ高きの市役所北側野山には10数年前から水道が、2段式加圧により実施されており、観光名所として、市民に親しまれている。国際の森にも早急に水道施設を設置するべきであると思うが、

建設費や維持管理費等で検討

市長 志布志港が一望できる風光明媚な場所として20年ほど前から、かなりも交流等で、国際の森のネーミングが生まれ、ハイキングコースとしても、市民に親しまれてい

る。旧志布志町議会でも過去水問題を言めた議論がされた経緯がある。東屋、トイレ等はあるが、水道施設がない現状である。多額の費用や電気料等見込まれるので、しばらく検討させていたきたい。

けて、PR合戦に取組んでいる。国際の森からの展望、景観はすばらしく、また、夜景についても、ポルヘリアタグリ、夏井市街地、大原台地、海とすばらしい夜景である。この国際の森の自然を生かした観光名所にすべき



国際の森からの夜景

国際の森を展望夜景の名所に

とと思うが。

市長 九州新幹線の全線

開通を前に、県はもとより、各市町村も観光誘客について、生き残りをは

付けを

商工観光戦略会議で方向

市長 観光振興は市の重点政策である。商工観光

戦略会議を立ち上げ、国際の森についても、各界各層の方々の意見を聞きながら、商工観光計画策定に向けて鋭意取組んでいきたい。

山頭火の句碑建立を市民の手で

問 放浪の俳人、種田山頭火は昭和5年10月10日、福島から志布志に入り、鹿児島屋に2泊滞在し、12日志布志駅から、岩川末吉町を行き、都城へ向い、その間、46の句を詠んでいる。旧志布志町で、平成15年から句碑の建立を実施され、平成17年度まで、4箇所7句が建立され、観光、文化句碑として位置付けられて

いる。しかし、1年に1箇所1句では初期の目的が遅れるので、市民の協力を得て建立すべきと思うが。

ふさわしい句を点から線へ

市長 放浪の俳人、種田山頭火は、山口県防府市の出身で、昭和5年10月10日旧志布志町に入り、2泊滞在し、46の句を詠んで、志布志の情景が読み取れるところである。なるべく早い時期に山頭火の句碑の建立を成し遂げていきたいと思う。そのため、市民に対しても協力を呼びかけてまいりたい。



種田山頭火の句碑

畑かんの積極的水利用について



坂元 議員

坂本修一 議員 畑かん事業も全面通水がせまってきたが、水を有効に使うための利用方法や、かん水技術、資材等の情報など農家への周知はどのようにされるのか。

情報伝達に努めていく

市長 各地区別に散水実演会や工事説明会を開催する。また、早期定着化を基本方針とした、畑かん営農指針を策定し周知を図っていく。また、機材やかん水方法のビデオ作成も予定しており、受益者農家への貸し出しも行う。

水利用の効果と収益性のある作物の把握はされているか

問 推進品目が選定されているが基準は何か。やる気のある農家の数は、

水利用の効果が高く、収益性のある新規品目の掘り出しも必要ではないのか。

露地、施設とも同じような選定基準によって決められている

市長 過去の実証試験や試験場において、水利用の効果が高く、平均価格が安定している。国の価格安定基金や価格保証制度があり、輸入農産物と照合せず、機械化、大規模経営が可能である。また、加工など契約栽培が



畑かん給水状況

あり、関係機関に品目の推進計画がある。など選定基準となっている。新規品目についてはショウワカ、セロリ、パプリカ等も推進品目となりうるが、関係機関に聞いていきたい。

排水対策の必要性について

問 畑かん営農の現場では、排水の善し悪しが効果を大きく左右するが、排水事業の今後の見通しはどうか。

市長 農畜畑地総合整備事業では、排水効果を上げるのに、農地保全、農道改良、天地返し等を行っている。また、市単独による簡易土地改良事業、天地返し等を行い土壌の排水に努めていく。

土作りと環境保全は

問 畑かん効果を上げるための土作りと、地下水の環境保全についてどう考えるか。

土壌は栽培上の基本である

市長 土壌環境と施肥効果を高めるため、畜産農家と耕種農家が連携した環境保全型農業の実践に取り組んでいく。また、土壌環境の改善と地下水の汚染防止のために、環境にやさしい農業振興と土作りを積極的に推進していく。

茶の防霜は間断散水で大丈夫か

問 茶園の防霜については、間断散水が検討される

ていると聞いているが、根拠は何か。効果は実証されているのか。

実証試験等の分析を怠り、総合的に検討する

市長 規模拡大による水の需要から、水の確保が困難になると予想される。特農家や任意水利組合では、間断散水が普及し、節水と湿度の軽減に役立っている。機材、圧力、立地条件等を十分に検討し、地域に合せ普及に努めたい。

畑かんは畜産には使えないか

問 畑かんの多目的利用で、畜舎の冷房、家畜への飲用水等の利用も考えられないか。

県や国へ要望していく

市長 今の段階では、目的外利用として捉えている。今後、協議しながら進めていく。

成年後見制度の普及を図れ!!



小野 議員

小野 議員 成年後見制度が、本市の高齢者や障害者にとって、もっと身近な制度になるよう、相談支援や制度の普及に向けた対策を行うべきではないか。

広報啓発を行い制度の利用促進を図る

市長 制度に対するPR不足もあり、現実の支援策については整っていない。今後、地域住民、関係機関等への広報啓発、成年後見についての説明会や相談会の実施、パンフレット等の活用などにより、制度の利用促進を図りたい。

相談に対応できる体制はできているか

問 身寄りのない高齢者や知的障害者を対象に成年後見制度を利用しやすいするため、市町村長は法定後見開始の申し立てを行い、救済に当たることができるが、相談があった際、地域包括支援センター内に、即座に対応できる体制はできているのか。

すぐに対応できる相談体制の充実を図る

福祉部長 権利擁護事業については、地域包括支援センターで担当するようになり、市の相談体制の充実を図る上から、相談があったときに対応できるように、相談員を増員し、一人一室体制を強化している。

住基カード利活用の取り組みについて

問 住民基本台帳カードの多目的利用を推進している多くの先進事例がある。市民サービスの向上に効果があるとされている住基カード利活用への取り組みについて問う。

市民に真に必要なサービスを検討したい

市長 住基カードの多目的利活用については、住基カードの普及状況を心掛けるが、市民のニーズや生活に密着した、真に必要なサービスを検討して利活用を図っていく。

火災警報装置の設置補助を図る

問 住宅火災による逃げ遅れを防ぐためにも、ひとり暮らし高齢者等に日

常生活用具給付の一つとして、火災警報装置の設置補助を図るべきではないか。

給付対象にできるように検討していただきたい

市長 現在、概ね65歳以上、低所得の寡たきり高齢者や、ひとり暮らし高齢者等を対象に、自動消火器のみを予算化して給付しているが、今後、住宅用火災警報器の設置も給付の対象にできるように検討していきたい。

がん検診の質の向上と受診率アップを図る

問 全国と同様に本市の死亡原因の第一位はがんであるが、がん検診の受診率は低い状況にある。今後のがん検診の質の向上、受診率アップに向けての取り組みについて問う。

予防や早期発見の必要性を周知する

市長 がんが志布志市の死亡原因の第一位である

ことから、予防や早期発見の必要性を市民に広く周知し、検診受診率の向上を図りたい。

検診の質の向上については、医療技術、医療従事者との連携もあることで、県など連携を図りながら対応したい。

義務教育における保護者負担の軽減を

問 義務教育における教材費、学校指定物品費等をはじめ、これまで保護者負担としていた費用について再検討をすることにより、更に費用の軽減が図られ、公費で賄うことができるものもあるのではないか。

過重な負担を強いないうつめたい

教育長 これまでも必要最小限で最大の教育効果を生む教材の選定と効果的な活用、そして、保護者への過重な負担を強いることのないよう指導してきた。

今後とも必要に応じ、津貼保護などの就学補助

制度などを適用し、義務教育が円滑に進められるよう取り組みたい。

成年後見制度とは？

認知症の進行で判断能力の衰えた高齢者の方、知的障害のある方、精神障害のある方など、判断能力が不十分な方の財産管理や身上監護を行い、また、悪徳商法などによる経済的被害から守るなど、ご本人が安心して生活できるように、保護し支援する制度です。



判断能力の異なる方々

児童生徒の安全・安心対策 地域振興対策について



玉 垣 議員

課題もあるが、住宅用地実現に向け関係団体と協議検討していく。

志布志市街地の開発計画を問う

問 志布志市街地の重要な場所を占めている駐輪・駐車場に放置車両があるが、今後の管理方法と、この付近を言のた開発計画を問う。

コンパクトシティへ向けた整備を図る

市長 駐輪・駐車場管理については、平成20年度に指定管理者制度の導入が予定されており、導入前までに検討していきたい。また、開発計画については、中央地区の現状と課題の整理を行い、新市まちづくり計画・過疎地域自立促進計画の基本方針裏に盛り込み、新市振興計画に計上予定である。都市環境の形成を図るため、コンパクトシティへ向けた理想的な整備促進を図っていききたい。

市民が輝く共生協働自立のまちづくり

市長 5地区で委員会設立があった。他の地区でも組織作りが検討されているようにある。

本年度中に活性化プランをまとめた地域においては積極的に活動を展開できるように検討していきたい。

森山地区の市営住宅の誘致は

問 森山地区のふるさとづくり委員会が計画実施しようとしていた宅地造成計画が休止状態となっているが現状を問う。

市長 平成17年度に土地開発公社によって原野2万2,010㎡の土地購入に至っている。財政的

事業化を進めていきたい

市長 現在の設置状況は、学校によって異なっている。今後、未設置の学校については、日当たりや趣向等を調査し、事業化していきなさいと思う。

環境教育のあり方は

問 学校のカリキュラム



学校プールでの水泳授業

での環境教育は、どのように進められているのか。

地球を大切に守り続ける教育を指導していく

教育長 総合的学習や特別活動において、多様な環境教育活動が展開されているが、広範囲な取り組みのため、今一度内容を精査し、効果的な環境教育が出来るよう考えたい。

ふるさとづくり委員会
の事業展開は

問 自主活動による地域活性化を全市に拡大するため、ふるさとづくり委員会があるが、有明・松山町における事業展開はこのようになっていくのか現状を問う。

UVカットクリームの使用は出来ないのか

問 以前、学校プールでのUVカットクリームの使用は許可されていなかったが、現在の状況を問う。

紫外線による人体への影響を考慮している

教育長 UVカットクリ

ームについては、ほとんどの学校において何らかの形で使用を認めている。オゾン層の破壊による皮膚への影響を考慮し、適切に配慮していく。

劣悪な教室の改善を

問 地球温暖化を肌身に感じる今日、小中学校教室への扇風機導入の計画はないのか問う。

子供達が安全安心に活動できるように努力する

玉垣大二郎議員 今年は全国的に水による事故が多く、また、埼玉県においてはプール事故も発生した。学校現場での水難救助法や心肺蘇生法の講習会・指導状況を問う。

教育長 本市で25校中7割以上の小中学校で講習会が行われているが、未実施校もある中で、さらに訓練の重要性を啓発し指導していく。

市職員及び教員の規律指導のあり方は



金子議員

金子光博議員 連日、飲酒運転による交通事故が報道されている中で先般、福岡市職員の飲酒による追突死亡事故で幼い三人の尊い命が奪われる事故が発生した。本市職員による飲酒運転による人身、物損事故の発生状況はどうか。また、これらに対する処分はどのようなになされているのか。

市長 今日までスピード違反、酒気帯び運転等の違反については個人情報保護の点から警察は公開できないので職員本人から申告するよう指導してきました。問われている飲酒運転での検挙処分は幸い過去5年間に於いては発

生していないところである。信用失墜行為の禁止など職務に専念する事を定めた職員の服務規律は定めているが、飲酒運転等に対する規定がないため、現在飲酒事故に対しては免職といった内容を念ふ交通事故に係る懲戒

処分の基準を早急にする作業を進めている。

教員会 研修会等で教職員のモラルの向上と服務規律の厳正確保に資料を作成し、繰り返し指導している。ここ数年、本市内における飲酒運転及び



研修状況

交通事故等について報告は受けていない。

海釣り公園の整備はできないか

問 豊かな海の資源を持つ本市として子供から高齢者まで安心して安全に魚釣りをできる海釣り公園としての施設は考えられないか。

市長 平成5年の港湾計画で旅客船埠頭については多様化する市民の水辺に対する意識の高まりに対応するため、海洋レクリエーション活動の場として整備がされている。今後は旅客船等のさらなる利用促進を図りたい。志布志港の中で唯一の進水レクリエーションの場と認識しているため、市民の意見を聞いて、要望があったら、港湾事務所等へ届け出て、PAR活動やさらなる活用推進につな

げていければというふうに思う。

県道柿木志布志線の改良の見直しは

問 県道柿木志布志線の柳橋から三場々尾間の整備関連予算が103万5千円一般会計補正予算に計上されているが、この整備については3月議会でも取り上げたところであるが、旧松山町民はこの道路が一日も早く整備完了しないと合併して良かったとは思えない現状である。市長として、これまでに県に対してどのような働きかけをし、今後の整備計画はこのように進められるのか。

本年度から一部を6年かけて整備する

市長 本路線のこの区間は合併後、道路整備の最優先区間として合併協議

会でも位置づけであり、これまで県土木部や県土木事務所にも早期の整備完了を再三要望してきたところである。その結果事業実施区間1,000m、全体事業費3億円、18年から23年までの6年間で完了する計画である。本格的工事の開始は、20年度からのため、本市においても用地や事業負担金等の問題で各関係機関と連携をとりながら、本事業の早期完了を目指したい。この事については十分認識しており、重く受け止めて誠心誠意、早期完成へ向けて一生懸命取り組んでいきたい。



グローバル化が進む中 英語教育の重要性を問う



宮田 議員

宮田 議員 国際社

会は、政治、経済、教育とグローバル化が進んでいる。この社会を生き抜くために、世界共通語である英語教育はこれからの日本人にとって重要な意味をもっている。そのため、なるべく早い段階から英語教育を行うべきだと思う。中央教育審議会が小学校5年生から英語を必修科目にすべきという報告を出した。早く競争的だった小学校英語教育が実施へ向け踏み出したところである。現在、本市では、「英語に慣れ親しむ」程

度の学習を行っていると思う。その程度の学習で国際社会に通じる英語力が身につくとは確信しているのか。また、英語に慣れ親しむ学習とはどのような授業なのか。

英語に慣れ親しむ授業を
市長 小学校における英語教育は賛否両論である。本市の英語活動はALTの授業を受ける等して、外国の人や文化に積



ALTによる英語教育の一環

極的にかわらうとする

標準や手段として活用させようとするものである。児童の活動意欲を高め、英語への嫌悪感を持たせないような活動の工夫が必要である。日常生活の中の身近な英語を扱うことと重点を置き、簡単な英単語を知り家族の紹介やアルファベット遊びをする等して、楽しさの中で英語に慣れ親しむ授業をしている。中央教育審議会が小学校5年生から週一時間程度の必修化を提言し議論が進められていることから、教育委員会としても、必修化を視野に入れて、今後指導向けのセミナーを実施するなどして生徒の資質向上に努めたい。

国や県の動向を見極めながら推進を図る

教育長 公立小学校の英語活動であることから、

学力としての英語力を向上させようとするよりも、英語に対するアレルギーを取り除き中学校に行つたときにスムーズに英語に入れるようにするのが、国と県の英語教育に対する姿勢であった。今後とも、私どもは国や県の動向を見極めながら、英語教育の推進を図っていききたいと考えている。

小学校での必修科目にできないか

問 ヨーロッパ諸国をはじめ中国、韓国、タイなどは小学校での必修科目となっている。それらの国々の若者は日常会話として話せると思うが、本市の若者までこのようにできるか。

せたいという気持ちがあるか。

国際社会で通用する日が来れば

教育長 これからの日本を支える若者たちが、公教育で学んだ英語のコミュニケーションの成果を持ち、国際社会で通用する日が来れば、これは本当に素晴らしいなと思う。是非そうなることを望んでいる。



野菜産地強化策と肉用牛 振興の取り組みについて



木 藤 議員

具体的な生産計画は立てていない

産業振興部長 具体的にそのような計画は立てていない現状であるので、今後市としても作物の張り付け計画を作っていく考えである。

生産団地育成の取り組みについて

問 今後の畑かん営農の在り方として、どのような手法で生産団地育成をしようと考えておられるか。

生産団地育成に努める

市長 農協の作物部会等を中心しながら、他の機関とも一緒に生産団地育成に努める。

メロン生産団地の再生について

問 生産量が減少していく中、鹿沼島ブランドを維持するためのメロン生産団地育成の再生について、どのように考えているか。

曾於メロンの振興を図る

市長 メロン産地に助んでおられる農家の支援を行い、つづき農家と連携を取り、鹿沼島ブランドに指定されている曾於メロンの振興を図ってまいります。

肉用牛繁殖雌牛導入資金貸付金について

問 松山町、志布志町については実施の方向で考

算化されているが、有明町の取り扱いについては導入資金等はどういうようになっているのか。

現行どおり有明町も含めて実施する

市長 合併後は市内全域を対象に松山町、志布志町方式を現行どおりを実施して、農業者の利子負担は無いように配慮している。

子牛価格の平準化対策について

問 経済性向上の面から見て、新市三地区の子牛価格の平準化についてどのように見ているか、また、その対策は。

子牛価格の上位を目指す

市長 子牛価格については有明地区が概ね2万円程度低いので、優良牛保留導入事業等の拡大充実を図り、市内三地区が家畜市場の上位を占めるように積極的に畜産振興を図っていく。



農地災害復旧について

問 一時利用指定地の災害復旧の取り扱いについて。

災害復旧を実施する

市長 公共災害及びほ場整備事業として災害復旧をする。



バドック牛舎を視察

本市の地域防災・災害弱者 対策について問う



藤 後 議員

藤後 第一議員 本市の新防災計画書の作成進捗状況と概要を問う。

10月上旬に一次案が確定予定である

市長 新防災計画書は作成中であり、10月上旬には一次案が確定予定である。

豪雨災害での避難勧告に問題はなかったか

問 7月5日の夜半から6日未明に発生した集中豪雨は、本市の過去30年間で最大の雨量を記録した。安楽川平城地区や前川の若宮、大性院地区では住民が消防車の救出出動や必死の自主避難で人的被害は免れたものの、生命の恐怖感や家財等の被害は多大であった。その間の市の対策は6日午前一時半すぎの避難所設置の防災放送はあったが

避難勧告はなかったと聞く、事実であれば反省すべき重大な問題ではないか。

もっと適切な対応が必要であったと思う

市長 市職員は一丸となって対応したが、想定外の予想を超える集中的な雨で対応が遅れて市民の方々に大変な迷惑をかけた。もっと適切な対応が必要であったと思う。

有効実効力のある防災、ハザードマップの作成を

問 防災マップやハザードマップの作成は法的に市町村に義務づけられている。今回の豪雨災害の経験から有効かつ実効性のある防災減災対策は、校区ごとの住民と共に作成する防災マップや専門家や防災機関の指導情報に基づいた災害ごとのハザードマップの作成が

不可欠と考えるが、今回の災害を契機に万全の対策を練っていく

教育長 旧志布志町の津波対策マップと旧有明町の土砂危険箇所マップの作成を基にハザードマップの作成や、校区ごとの防災マップは市民や消防団等の意見を取り入れながら今後作成したい。

地域防災力の強化育成策は

問 行政による防災力には財政上からも限界があり、自助共助による地域

の防災力が不可欠である。その地域防災力を充分発揮するためには、即

戦力である地域自主防災組織や、そのリーダー後の地域防災推進員の育成活用が必須不可欠と考えるが、本市の現状と今後の取り組みを問う。

現状の活用は不十分であり、今後の課題である

市長 現状では充分活用していないので、今後地域の防災計画の中に位置づけて力を借りたいと考えている。

高齢者、障害者等の災害弱者対策について

問 今年の3月に内閣府が災害弱者対策の目玉として「災害時要援護者の避難支援ガイドライン」を具体的に詳細に明示して、その支援策の実施を自治体に求めているが、本市の現状と取り組みを問う。

今後地域防災計画書の中で具体的に取組みたい

市長 内閣府のガイドラインは資料が届いているので、今後地域防災計画書を作成していく中で災害弱者の援護体制を構築していきたい。

本市独自の「防災条例」策定の考えはないか

問 9月に宮崎県議会では、行政や県民、企業が連携し防災や復興対策に取組むことを目的とした罰則のない理念条例としての「宮崎県防災対策推進条例」を策定したが、本市も防災意識高揚のためにも独自の「防災推進条例」を策定する考えはないか。

今後の課題として検討していきたい

市長 防災条例については、即条例化ではなく、実効性ある防災条例について市民協働の中でじっくりと検討していきたい。



集中豪雨による被害

公立保育の民間移管は 保護者の声を十分に聞け



小園 議員

小園 議員 公立保育所の民間移管について九月議会に民間移管作業スケジュールが示された。私はこうした問題は保護者の意見を十分に聞き対応する事が大切だと考える。保護者の方々から民間にしてくれと要求があったのか、そして保護者の意見を聞かれたのか。

直接聞いていない

市長 松山地区の方々からは、直接は聞いていないが、有明地区の方々からはそのような声も聞いていた。今後保護委員会の方々と十分に話し合いをし、意見を聞きたい。

合併効果としてはどうか

問 合併初年度にどういった事をやるのかにより住民や保護者の方々が合併して良かったと考えるのか

なると思うか。

市長 合併して様々な事業について住民の方々に説明しながら遂行に努めようという事は基本的な考えだと述べてきた。保護者の方々との話し合いをさせていざなうというの、まず取組むべき課題だと思ふ。そしてご理解をいただきたいながら前に進めていきたいと思ふところである。

民間移管の理由は何か？職員への対応は？保護者との合意は？

問 民間移管をしなければならぬ理由は何か？として正職員、臨時の職員の方々これらに対する影

響、反対される保護者との合意形成の考え方はどうか。

保護者や職員にも十分な対応をしていく

市長 様々な保育業務に対するニーズが多様化し要望が今後高まっていくと考えている。職員に対しては影響がないような



有明保育所の元気な子ども達

形の移管を進めていく。保護者の声は十分考慮しなければならぬと考える。十分に説明し納得をしていただく方向性をとっていききたい。

市独自の軽減策は考えられないか

問 障害者自立支援法の施行によって児童デイサービスを利用する方々の負担が、一割負担で大きな負担になっている。9月現在の状況を見ると市の持ち出し分は減少し、自己負担分は増えている。予算の執行状況をみてみると自己負担分を無料にしても予算の範囲内で十分に対応ができる状態である。市の独自策は考えられないか。

予算の執行状況を見ながら対応していく

市長 療育についての重要性は認識している。市においても少子化対策、子育て支援の観点から予算の執行状況を見ながら、また、本人負担地の軽減を把握しながら軽減

策については対応していく。

周知は十分にされているか

問 国民健康保険法では被保険者が病院等に支払う一部負担金の減額や免除の規定があるが、その事の周知は十分にされているか。

市長 窓口等での問い合わせはないとの事で特別に周知は行っていない。

問 災害があったり、火事になる。そうした状況が発生した時は法に基づき十分な対応が必要ではないか。

十分に対応する

市長 先日本市で大災害が発生した。これらの場合に一部負担が難しいという方がおられるという事なので、この事について十分周知をしていきたい。

生活保護認定は公平公正か



下平 議員

下平 議員

憲法二十五条はすべての国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する、国民の権利として守られているが、認定を必要とされている人が認定されていない。またこれと反対に、こんなに元気な人が認定されているという認定のあり方に、不信感を持っている市民は少なくないようであるが公平公正に認定がされているか。

認定は公平公正に認定している

市長 認定決定の際は、面接時に就労の阻害と年金との該当や生活状況、収入、資産調査など検討委員会での基準を基に公平公正に認定している。

問 認定後の追跡調査、

実態調査はされているか。

職員やケースワーカーの就労指導を実施

市長 AからEランクの五段階の格付けの基に職員やケースワーカーが訪問し、生活指導や自立助長、就労指導をしている。

水道水の水質の対策は

問 大迫水源地の施設状態等を二ヶ月にわたり調査したところ含有量が平均B、4ppmで、一番高い数値は10ppm、一番低い数値は7、2ppmである。これらの要素は、医学的にも発がん性や糖尿病を引き起こす大変危険な物質であるが、年次的、将来的にどのような対策をしていくのか。

森山水源地の電気探査の結果、良水のため、ボーリング調査を実施

市長 今までに、硝酸値を下げる手法として、化学的処理方法、希釈する

方法、大迫水源付近での新水源確保などが検討されたが、結果が得られないために、本年度、県が実施する水源開発診断調査事業の採択を受け、森山水源地付近のボーリング調査を実施する。

水源施設の水対策はどうか

問 今回の大雨で、水源地の施設等が冠水して、長いところで三日間断水したようであるが、冠水しないためにどのような対策をするのか。

安全性を考慮した冠水対策の手法で今年度中に実施する

市長 対策の基本としては、水源と施設を切り離して高い位置に移設することだが、多額の費用を要するため、各施設の経過年数を考慮した冠水対策の手法を検討して、今年度中に実施する。

行政改革大綱が策定されたが、組織の見直しをどのように進めるか

問 本所と支所の機能分担課題についても事務事業の再編・統合等の見直しを行い、組織を合理化し、職員の削減に努めることあるが、まず、組織の見直しについてどのように取り進むか。

行政改革推進委員会等意見を聞きながら見直しをする

市長 事務事業や事務分掌上の問題点、組織機構上の問題点、住民サービス上の問題点について調査し、テーマごとに、作業部会、検討チームを設置して、改善、見直しについての十分な検討をして改革推進委員会等の意見を聞きながら見直しを進める。

事務の効率化について

問 組織の見直しによって、事務の効率化が図れる。例えば予算一つにしても本所で一括することでも無駄が省けるし、予算の問題も無くなり事務の効率化が図れると思うがどうか。

職員の資質の向上等、総合的に取り組む。

市長 本所と支所の役割分担の見直しで事務決済のスピード化、民間でできることは民間へ、電子自治体の推進、職員の資質の向上、政策形成能力の向上等、総合的に取り組む。

職員の定数化について

問 組織の見直しや事務の効率化によって職員の定数化が図れると思うがどうか。

組織の見直しとともに進める

市長 行政改革推進会議でも職員適正化計画が示されているので、そのことに従いながら適正化に努めたい。



「女性支援対策室」の 役割と方向性を問う



鶴迫議員

合わせて水のみ場を検討する。階段は国有財産なので国との協議を直ちに行い段差の解消、手すりの設置や所在がはっきりする形の安全策を協議していきたい。

女性支援策とは何か

問 七月に設置された「女性支援対策室」の役割と今後の方向性は。また、「女性支援」ということを市長はこのように認識されているのか見解を。

女性の市政参画

起業家チャレンジ
相談窓口の役割

市長 女性パワーを発揮できる制度や環境づくりが必要。仕事、子育て、福祉、セクハラ、DV、虐待など困っている方へ

市長 来年度県体開催に伴う運動公園周辺整備に

水飲み場は検討

階段は国と協議

の相談対応が大事であり、その窓口の設置も重要である。「女性支援対策室」は市民の目線に立つた公共サービスの案内役で気軽に相談できる場所。専門相談員を置き定期的な相談日をもつことも検討している。

男女共同参画社会推進のリーダーシップを市長自らとれるか

問 「女性支援対策室」の室長に男性を登用された理由は。また、改定された国の男女共同参画社会基本計画の重点事項の中に、「男女共同参画社会形成の男性にとつての意識と責任や地域、家庭への男性の参画を重視した広報活動を推進する」とある。住民のモデルになる庁内職員に対する男

性共同参画社会への啓発学習が行われ理解が進むことがまず基本であると思う。特に男性職員に対して市長はどのような指揮をとられているか。

まずは庁内職員がモデル

市長 適材適所の人材配置である。室長は男性だが企画、運営の面で能力を発揮し二人の女性担当で相談を受けることとなる。庁内職員がモデルになり市の女性の地位向上と男女共同参画社会というものが「女性支援対策室」から発信できるのではと思う。



女性支援対策室

ファミリーサポートセンター設置を図れ

問 埼玉県志木市の「お願い会議」「まかせて会」「両方全額」の登録制で子ども（0歳児〜10歳児）を理由付はなくても預けることができる行政と市民の協働による有償ボランティアのシステムがある。本市でもファミリーサポートセンターにならうって設置できないか。

19年度、設置する

市長 今年度10名位の子育てサポーター養成講座

ふるさとを「市の花」「市の木」でいっぱい

問 公募で選ばれた「市の花」「市の木」の植樹で、速くいっても「色彩で思い出させる環境」のふるさとを自指し花と緑の事業に取組む考えはないか。

心なむ美しいまちへ

市長 「市の花」「市の木」決定後市民の協力で市内全体が花に包まれ心なむ美しいまちにしたい。

①道路規制導入
②「女性支援推進会議」について、質問した。

その他に

職員の人事管理について



野村議員

野村公一議員 議員の適材適所の市長の考え方を伺う。

市長 本人の経歴、希望を踏まえながら、上司等の意見を聞き、その者に向いている配置をして行くことが適材適所であると思う。

市民サービスを重視すべき

問 適材適所は職員だけの問題でなく、役所の為に都合の良い人事であってはならない。市民サービスの低下を招かない市民のための適材適所であるべきと考えます。本市の臨時職員、パート職員を除

いた職員だけで現在の行政需要に対応可能か。

市長 議員の数は237名であり、パート職員とあわせている現在から考えた時、これらの方々がいない場合には、業務の遂行がかなり困難だと懸われる。

臨時、パート職員が働きやすい職場環境を

問 本来職員がすべき作業を大変な苦勞をしながら従事している臨時、パート職員も正規の職員と一緒に頑張ってほしい。和やかに仕事に従事できる環境醸成に努力を

市長 行政改革については職員が素案を作成し、委員会等で論議していただく。入

公平な市民サービスを

問 高齢化社会を迎える中で救急医療業務が増加している。地域（特に志布田之津地区、松山屋野見地区）によりは、救急業務に時間を要しているが、もっと短縮できるように消防連合等を通じて努力すべきではないか。

市長 地域によっては非常に時間がかかるという事は議論があつたことである。いかに短縮化するかとということも協議し、市民が平等にサービスを受けられるよう、頑張りたい。

教育改革をどう進めるべきか

問 今年度、教育委員会では、学校の規模、学校の区の見直し、教育効果

統廃合等を改めて検討する委員会の設置についてその進捗状況を伺う。

教育長 委員の選任、スケジュール等を検討し、12月議会が必要経費を予算計上し本格的な審議をする予定である。人選については、PTA代表、母親の代表、地域の代表、学識経験者、各種団体の代表等、25名程度を考えている。

問 統廃合は進めて通れない今日、委員会としてかなり方向付けをし、統廃合後の地域振興については、行政が地域と一緒に知恵を出すべきではないか。

統廃合を進め、地域と話し合いを進める

教育長 学校の教育はどうあるべきか改めて教育

委員会の検討し、統廃合については十分地域の方々と協議していきたい。

歴史のまちづくり事業について

問 歴史のまちづくり事業は旧志布田町の基本計画にしっかり根を下ろしている事業である。市長の施政方針等に全く触れてないがどの様に考えているか。

しっかり取組む

市長 志布田町の取り組みというものを勉強させてもらった。素晴らしい歴史遺産、文化遺産であると実感している。これはまさに、志布田市の観光、商工業振興の自主財源下でも多数の歴史遺産があると位置づけられているので、今後面工観光戦略会議等でこの構想について改めて見直し、しっかりと取組んでいきたいと考えている。

商家資料館整備の前倒しをすべき

問 藩政時代の歴史的資料、美術品が数多く残っている。時がたつことでこれらの流失が懸念される。資料館の整備も年次の計画がされているが、一年でも早く整備を進めるべきと考えられているか。

教育長 財政部局と協議し、商家資料館等の整備を一日も早く実現できるように、歴史的、文化的資料館等についても担当課と十分協議をして、打つべき手は早めに打っていききたい。

本田市政ならではの政策を

施政方針等に思い切った政策が望まれる。福祉教育、建設事業はもちろんだはあるが、市民の所得の向上が図られる実のある政策がほしい。

黒田秀吉という、草履を懐に温めて信長の関心を置いた話がある名であるが、それだけではない。自分の弱点を部下の能力であぎなつた「人たらしの名人」でもあつた。

秀吉の参謀役として有名な武将に、竹中半兵衛と黒田官兵衛がいる。半兵衛は永禄10年頃、織田信長の部下となり、当時、近江への調停を担当していた秀吉の重目付、つまり監視役となつた。

半兵衛と秀吉の関係を現代でいえば、半兵衛が本社から乗り込んできた監視役で秀吉が支店長といつたところ。さうなら反目し合うものだが、秀吉は半兵衛にすり寄り、弱点をさらけだし、協力を頼んだ。「私は百姓出身ですが、學問も武勇も明るくありません。信頼できる譜代の家臣もいないので、どうか助けてほしい」といふこと、秀吉は半兵衛に戦略のすべてをまかせた。弱点をさらけ出した秀吉をみて、半兵衛は「この人に尽くそう」

議員控室

「人たらし」

野村公一



という気持ちで強めたという。黒田官兵衛にたいしても、秀吉が自分の弱さをさらけだし「あなたを束の弟と思つている」と語りつづけた。弱点をさらけだし、部下の心を掌握した秀吉の人たらしの術。

このうち、秀吉は天下統一をなしたげだが、半兵衛と官兵衛の両知患者の心をつかんだからこそその偉業だったといえる。上司が下手にでてものを尋ねると、部下の自尊心がくすぐられる。喜んで教える。その結果、上司から、「おかげでよくわかつたよ。ありがとう」なんて感謝されながら、気分最高潮。頼んだ上司も情報が見られちゃう、部下の心を魅きつけることわけて「石三郎だ」。



総務委員会所管事務調査

平成18年10月23日～25日

1. 地域交通システムについて
(宮城県栗原市)
2. 観光推進によるまちづくりについて
(岩手県遠野市)

文教厚生委員会所管事務調査

平成18年10月24日～26日

1. 学校給食センター建設について
(山形県上市市)
2. 循環型街づくりについて
(岩手県紫波町)

産業建設委員会所管事務調査

平成18年10月23日～25日

1. 海洋深層水の利用促進について
海洋深層水活用施設について
(新潟県佐渡市)
2. 食の安全・安心の取り組みについて
地産地消の取り組みについて
農産物の団地化について
(新潟県胎内市)

三委員会では以上の箇所を、志布志市の活性化、発展に資するために所管事務調査を行いました。

編集後記

★今年の春、東大に在籍する中国人青年が情報収集の為に我が家に数日間滞在した。

★彼は、昔於地域の農業を卒論のテーマとして選び、冬に雪がなく、広大な農地とアジアに開かれた港灣を持つこの地域を、全国で最も恵まれた食糧拠点として位置づけ、大きく期待している。

★我々は、そこに住む者として、それほど恵まれた地域だと実感しているだろうか。灯台もと暗し、のごとく地域の長きに「気が付かず、生かした方も忘れてはいないだろうか」。

★三町が一つになり、早一年になろうとしている。

★合併は、近隣同士が助け合つていく事を大きな目的としているが、ややもすると、相手のいい所より、悪い所の粗探しが行先してしまつ事もあろう。

★中国に言及、日本で学ぶ彼の視点に立つて、いま一度、わが地域のいい所を足元から見つめてみたい。

広報等調査特別委員

坂元 修一郎